

# 上里町

2023年7月発行 会報39号

公益社団法人  
上里町シルバー人材センター

# シルバーだより



## 会員数

[2023年6月16日現在]



男性 160人



女性 72人



合計 232人

自主

自立

基本理念

共働

共助

# 理事長挨拶

柴崎 久男



## 『二年目にあたり 『すべては会員のために』』

昨年、令和4年度も新型コロナウイルス感染症対策に世界が苦しみ、世界情勢の不安定さも加わり多岐にわたる社会経済活動がその影響を受け、当然ながら上里町シルバー人材センターの事業活動にも影響を受けたところであり、一方、ロシアによるウクラ

イナ侵攻が長引き、これもまた、世界経済への悪影響が様々など出ている。相次ぐ生活物品の値上げで少しでも家計を助けるために会員の就労意欲も高くなっている状況も一部では見受けられます。

今年10月からは消費税のインボイス制度が始まり、複雑化する社会変化に対応できるセンターの事務所運営のために、新しいシステムの導入準備を資金面等も含めて行いました。

当シルバー人材センターの会員平均年齢が72歳を超えるなど、新型コロナウイルスの影響、或いは体の不調による休みなど当日の就業先への会員の手に苦慮している場面も見受けられました。また、会員の更なる高齢化に備え、新しくフレイル予防のサポートと測定員の養成にも力をいれたところであります。

今後も会員の拡大と新規

の就業開拓の向上により、就業率の向上に努力して行きたく考えています。シルバー人材センターの基本理念であります自主、自立、共働、共助で生きがいを実感させ、地域社会の活性化に貢献する事業活動を展開してまいります。

会員各位からの率直なご意見をいただき、それを活かして当センターの発展に寄与したく考えますのでご協力をよろしく願います。7月となり毎日暑い日が続いています。外作業が多い職種は気温との戦いが続きますので、健康管理に十分注意して作業に取り組んでいただきたいと思います。

明るく、楽しく、健康で勤められる職場づくりを共に邁進して行くようではありませんか。



## 令和5年度役員一覧

役職	氏名
理事長	柴崎久男
副理事長	石原周二郎
理事	塚越節子
理事	大城正隆
常務理事	土谷弘
理事	西田圭司
理事	解良和夫
理事	内田久代
理事	茂木一美
理事	須貝誠
理事	齊木清一
理事	清水武雄
監事	岩田秀夫
監事	木村久美江

# 令和5年度 定時総会開催

## ご来賓祝辞

去る6月15日に、上里町シルバー人材センターの定時総会が上里町男女共同参画推進センターで開催されました。今年は新型コロナウイルス第5類移行を受け通常開催に戻りました。冒頭、理事長のあいさつに次いで、上里町長山下博一様、上里町議会議長 黛浩之様、上里町役場高齢者いきいき課長 山田 隆様からごあいさつをいただきました。



黛 議長



山下町長



山田課長

## 報告事項

出席総人数は、委任を含めて189名で、定足数を満たし無事開会となりました。議長は、柴崎理事長が勤め、報告事項1として、監事よりの監査報告に続き、報告事項2の令和4年度事業報告がありました。令和4年度は、コロナ禍において、元総理の銃殺事件やロシアによるウクライナ侵攻等、暗い話題が多い年でしたが、2つのワールドカップ、サッカーとベースボールで国内が湧きました。シルバー人材センターの運営では、会員の新型コロナウイルス



イルスの感染による急なシフト変更にも成功し、かつ会員増もできたため、契約金額は約1億3千6百万円と令和3年度からは約7%増でした。契約比率は、公共が3.1%落ちて24.4%、その分、民間が伸び64.7%、個人は微増で10.9%でした。会員数は、前年度より5名増の250名でした。

続いて、報告事項3で令和5年度の事業計画書及び収支予算書について説明がありました。令和5年度は、上里町と国庫からの補助金は増額となる見込みですが、就業形態の適性見直しにより幾つかの就業先にて請負契約から派遣契約へと切り替えます。この変更により、上里町シルバー人材センターの経常収益が前年度より落ちるため、前年度



実績の約3%減の1億2千2百56万円を計画しています。公益社団法人として収支相償（必要な費用を大幅に超える収入を、長期間、得続けてはいけない）を守るために、経常費用は経常収支と同額を計上しています。令和5年度は、シルバー人材センターの運営業務に特化したシステムの導入を図り、その使用料が高額であるため引き続き節約していかねばなりません。

令和3年度からスタートした、第1次中期計画に沿って計画目標と方針、重点的施策が練られています。【別表1参照】

【別表1】

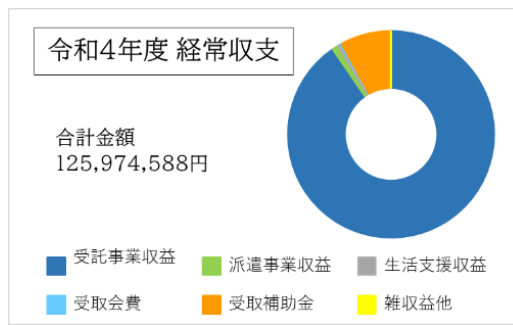
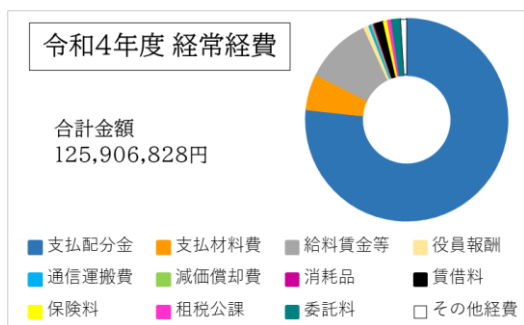
目標	令和4年度計画	令和4年度実績
経常収支	125百万円	136百万円
会員数	235人	250人
女性会員数	87人	78人
就業率	85.5%	79.0%

■第1号議案

決議案に關しましては、議案第1号にて令和4年度の決算が承認されました。

決算に關しまして、貸借対照表では自走式刈払機（バロネス）を購入しましたので、その他固定資産が増えていきます。正味財産計算書において、経常収益計が1億2千5百97万4千5百88円で、前年度比約1.7%増となりました。これは収益全体の約9割を占める受託事業収益が2%弱伸びたことに起因します。一方、経常費用計が1億2千5百90万6千8百28円で、前年度比約1.6%増でした。収益と費用の差額、経常増減額はプラス6万7千7百60円でした。令和3年度の経常増減額はマイナス8万3千8百22円でした。決算は承認されました。【別表2参照】

【別表2】



■第2号議案

次に議案第2号の会費規程の改定についての提案がありました。現在、会員一人当たり、シルバー保険、郵便代等で約4,300円の費用が発生しており、センターの自主的な運営を維持するために、令和6年度より、正会員の会費を現在の1,200円から1,800円に値上げ（特別会員、賛助会員についてもそれぞれ値上げ）すること、条文の一部改訂が提案されました。他地域のシルバー人材センターと比較しても妥当であるということで、提案とおりに決議されました。

上里町シルバー人材センター会費規程  
【抜粋】  
(会費の額)  
第2条 会員が1事業年度に納入すべき会費の額は、次の各号に定める額とする。  
(1)正会員の会費は、年額1800円  
(2)特別会員の会費は、年額1800円  
個人は年額3000円  
企業は年額4500円  
(3)賛助会員の会費は、

■会員十年表彰

5名の会員の皆様が

表彰されました

定時総会の中で、令和5年3月末時点で勤続10年を迎えた5名の皆様に対し、柴崎理事長より感謝状の贈呈をさせていただきます。

伊藤千代光様 宮脇卓士様



久保勉様



天田政勝様



宮下欽志様



これからも、後輩の育成並びに、シルバー人材センターの発展に貢献いただけますよう、ご協力願います。皆様、本当におめでとうございました。

地域に広げる笑顔

トピックス  
神保原小学校2年生が『町たんけん』でシルバー人材センターに来所



去る6月19日(月曜日)の11時〜11時30分の時間に、神保原小学校2年生29名の可愛い生徒さんが、神保原町の探検学習の一環として上里町シルバー人材センターの

見学に来てくれました。事前の質問事項として、  
①働いている人は何人ですか。  
②どんな仕事をしていますか。  
③何歳くらいの人が働いていますか。  
④どんな機械がありますか。  
⑤一番大変な仕事は何ですか。  
⑥一番嬉しいことは何ですか。

という質問に対し、シルバー人材センターの松本次長より、一問一問丁寧に説明し、小学生もすっかりメモを取って勉強していました。

その後、草刈りや植木剪定に使う機械の紹介をしました。自走式草刈機と刈払機、そしてチェーンソーやトリマーを見てもらい、子供たちは興奮気味に沢山の質問をしてくれました。

今回の『町たんけん』を通して、小学生の皆さんにも高齢者が仕事をする大変さを、少し理解してくれた様子でした。

情報コーナー

安全就業のお願い

シルバー人材センターで起きる、傷害・賠償事故の多くは、植木剪定・

シルバー人材センター安全標語  
 いっまでも働く喜びを事故から

伐採作業、草刈作業中に集中していません。これらの作業は、植木では転倒・転落・切傷といった傷害事故、草刈では飛び石等による賠償事故と、炎天下での作業のため熱中症が多くあります。近年では、その他にも清掃作業中の転倒による怪我也増えています。

センターにおいても、安全就業委員会が中心となり事故の未然防止に努めています

が、最後は働かされている各会員さんの注意に委ねられます。そのために、会員さんの安全意識高揚のため、注意喚起のポスターを貼ったり、安全意識高揚の日を設けたりしています。

高齢化するとどうしても体力の低下とともに運動能力が落ち、思わぬところで怪我をしてしまうリスクが高くなりますので、十分にご注意ください。

昨年度に起きた主な事故は下の一覧表のとおりです。

これらの他にも、軽い熱中症、蜂刺され等の何件か報告を受けています。一覧表を見ると、昨年の事故は全て植木と草刈の作業中に発生したものです。特に、刈払機、チェーンソー、バリカンといった機械道具を使用したものが5件中3件あります。機械道具の使用に関しては、毎年事故が多いので、取扱方法に関する講習会を開催しています。

見逃すな 手慣れた作業に 潜む事故

[令和4年度事故一覧表]

作業	場所	原因	事故内容内容	適用保険
草刈	集合店舗	飛び石	駐車場内の車のガラス破損	賠償
植木	病院	誤切断	光回線を切断	なし
植木	民家	切傷	チェーンソーで指を切傷	傷害
草刈	民家	熱中症	炎天下にての熱中症	傷害
植木	民家	切傷	バリカンにより指を切傷	なし

また、刈払機、チェーンソーに関しては、外部の特別教育あるいは安全衛生教育の受講を必須としています。

シルバー人材センターで全国的に多いのが、通勤途上の事故、自転車での転倒などによるものです。弊センターに

においても、コロナ禍で中止していた交通安全セミナーを再開します。また、刈払機による飛石での事故も多く、賠償金額も高いので、受ける保険会社が少なくなるほどです。石飛防御ネットの使用が義務付けられ、石飛のしやすいナイロンコードの使用を禁止している保険会社もあります。弊センターにおいても、考えて行かなければなりません。

怪我は、本人が痛い思いをするばかりでなく、仲間、家族にも迷惑がかかります。賠償事故は、相手側にとってはたいへんな迷惑で、修理すれば済む問題ではありません。ちよつとした油断が大きな事故となりますので、十二分な注意を払っての就業をお願いします。



■ 接遇について

接遇とは「お客さまを理解し、適切に迎える応対」のことです。1言葉づかい 2態度 3表情 4身だしなみ 5挨拶

【言葉づかい】



【態度】



【表情】



【身だしなみ】



【挨拶】



の接遇マナー5原則が基本となりません。挨拶がないと、不快に感じることが利用者・お客様は多く、センターにもたまに苦情が寄せられています。言葉使用に関しては、いわゆるタメ口であつたり、命令調であつたと

して苦情があります。表情は態度にも関係して、威張ったり、横柄であつたり、投げやりな態度でご利用者・お客様に不快な思いをさせてしまいます。

『売り言葉に買い言葉』は、『好戦的な言葉に挑発されて、自分も喧嘩腰で対応してしまう状態を意味します。』これが口喧嘩に発展し、中には暴力事件となるケースもあります。シルバーの就業者同士であつても、気を付けなければなりません。が、シルバー就業者と利用者・お客様との間では、決してあつてはなりません。古くから、駐輪場で働くシルバーの管理者と利用者、あるいは公民館・体育館等の管理人とその施設の利用者との間でのトラブルがありました。最近ではもっとも拡がりスピードでのカート整理作業や施設の清掃作業、リサイクル品回収業者と利用者との間でも起きています。

管理の仕事ですと、管理者の立場が上であるとの勘違いをされる方が多く、利用者に対しつい横柄な態度、言い方をしてしまうことが多かつたようです。最近では、シルバーの高齢化が進み、認知症の周辺症状として、自己中心的で攻撃的になり暴言・暴力に至るケースも出ています。

シルバー人材センターは地域の高齢者に働くことを通じて生きがいを提供する、公共性や公益性が極めて高い団体です。その組織で働く会員の皆様は、地域の方々に注目されています。そのためには、センターの会員にふさわしい態度や言葉使いで、センターが地域社会からより信頼されるよう努めてください。

**利用者とのトラブル発生メカニズム**

利用者、お客様とのトラブル発生を集約すると、以下の3つが主な原因となっております。◇カート等の利用方法に関する注意した注意の仕方が

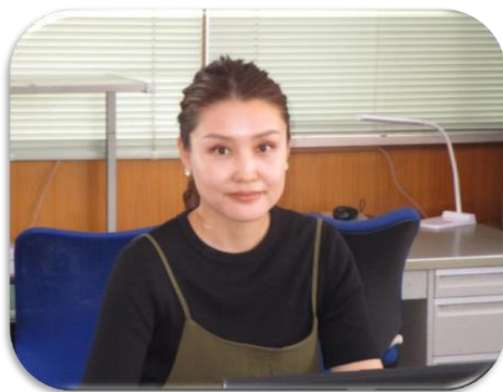
悪いトラブル  
 ◇利用者があるのに作業を優先して継続した不便・危険  
 ▼トラブル

**利用者とのトラブルを避けるために**

設備や施設の利用方法については、主管区で記載したものが掲示されていますので、直接利用者には説明することは基本的には必要ありません。ルールを守らない人がいて、どうしても守ってもらうには注意するのではなく、お願いする気持ちで伝えればトラブルは未然に防げます。

作業中に利用者が来たら、作業を一時中断するか、その場を離れ別の作業場所を交える等の工夫をしてください。あくまでも利用者優先であることを忘れないでください。★自分では普通に接しているつもりでも、相手は横柄だと感じることもあります。そのことを忘れずに笑顔で接してください。

## ■新任の事務局員紹介 事務局だより



はじめまして。今年4月より  
り経理担当として、事務所の  
臨時職員でお仕事させていた  
だいております田島と申しま  
す。  
独身時代は主に接客業や自動  
車メーカーで事務の仕事をし  
ており、休日には趣味である  
ネイルを学んでおりました。

結婚後、夫の転勤を機に出張  
ネイリストとして石川県金沢  
市、愛知県名古屋市中で活動し  
ており、その後自宅でネイル  
サロンをオープンし、現在も  
限られた人数ではありますが活  
動しております。  
今回ご縁があり、地元の上里  
でお仕事をさせていただくこ  
となりましたので、少しでも  
皆様のお役に立ちたいと思っ  
ております。

熱い中、一生懸命お仕事さ  
れている会員のみなさんを見  
ると自分も、もっと頑張ろう  
と励まされます。お昼の休憩  
時間にはみなさん楽しそうに  
お話していて、気さくに声を  
かけてくださる方もいて、と  
てもいい雰囲気です。楽しくお仕  
事させていただいております。  
不慣れな点多々あるとは思  
いますが、よろしくお願い致  
します。



## ■健康診断受診のお願い

### 健康診断



会員の皆様が健康で安心  
してお仕事をし  
ていただくため  
に、町で実施して  
いる健康診断を  
年1回受診しま  
しょう。特にシル  
バー派遣会員の  
方は、派遣先企業  
に健康診断結果  
を報告すること  
が求められるこ  
ともあります。



上里町  
シルバーだより

7月号 (39号) 令和5年7月14日発行  
発行責任者：柴崎 久男 編集長：斉藤 正美  
〒369-0305 埼玉県児玉郡上里町大字神保原町 1401 番地



公益社団法人 上里町シルバー人材センター  
TEL 0495-33-4231 FAX 0495-71-4251  
[ホームページ] <http://kamisatomachisilver.com/>  
[E-mail] [kamisato@sjc.ne.jp](mailto:kamisato@sjc.ne.jp)

※無断複製禁ず